

須崎市終末処理場
「DHSシステムを用いた水量変動従従型水処理技術」



香南市夜須浄化センター
「オキシデーションディッチ法における二点DO制御システム」



高知市下知水再生センター
「無曝気循環式水処理技術」



中国・四国
特集

地域別特集

マンホールサミット 倉敷2017 レポート

平成29年11月18日、岡山県倉敷市でマンホールサミットが開催されました。
中国地方では初開催ということで、私たち倉敷市GJも気合十分！ 当日は、あいにくの雨模様にもかかわらず、
来場者数は過去最多の3500人!! 大いに盛り上がったイベントの様子をレポートします。

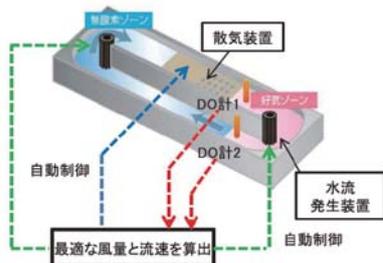
Cover Photo 今月の表紙

中国・四国

持続可能な下水道を実現する革新的水処理開発の先進県・高知発信の
3つの下水道技術をGJ&GDが紹介します。

香南市夜須浄化センター 「オキシデーションディッチ法における二点DO制御システム」

表紙の人：上下水道課料金担当GJ諫本主査と下水道係GD川西主査



二点DOシステムとは、二カ所に設置したDO計の値を用い、水路内の溶存酸素(DO)濃度の勾配が一定となるように、曝気風量と循環流速を独立に自動制御します。これにより、好気ゾーンと無酸素ゾーンを安定的に形成することができます。この技術は、平成27年度(第8回)国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」でグランプリを受賞しました!香南市では、この制御システムを野市浄化センターにて実証実験を行い、現在夜須浄化センターに導入しています。

夜須浄化センターは、平成3年より稼動しており、下流の夜須町「ヤ・シィパーク」の海水浴客増加に大きく貢献しています。当町は園芸が盛んな土地ですが、「ルナピエナ」(=イタリア語で「満月」)というスイカをご存知でしょうか?たびたびテレビにも取り上げられている名品です!おいしい坊GJのみなさん、4月から6月までが旬(大玉)のその感動の甘さをぜひ一度味わってみてください。



冬には中玉スイカが食べられます。

須崎市終末処理場 「DHSシステムを用いた水量変動追従型水処理技術」

表紙の人：GJ柴田主幹・GD谷脇技幹&中平技幹
須崎の下水道を支える若手のホープ達☆

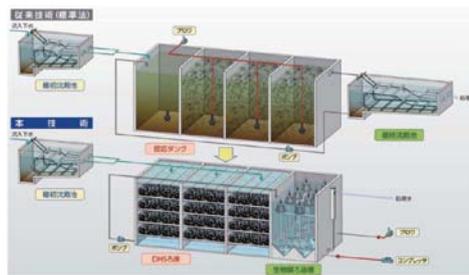
人口減少社会を迎え、処理場へ流入する水量の減少に応じ、効率的にダウンサイジング可能な水処理技術*1が求められています。本技術は、「スポンジ状担体を充填したDHS*2ろ床」と「移動床式の生物膜ろ過槽」を組み合わせた標準活性汚泥法代替の水処理技術です。現在、2年目の実証研究中で、本年度の下水道展でも紹介されました。本市のマスコットキャラクター「しんじょう君」も、関連イベント等でPRしてくれていて、国内はもとより海外でも普及展開できる水処理技術を目指しています。

※1 ダウンサイジング可能な水処理技術：以下の性能を具備する水処理技術

- ① 流入水量減少に合わせた処理規模の縮減
- ② 流入水量減少に追従したライフサイクルコストの削減

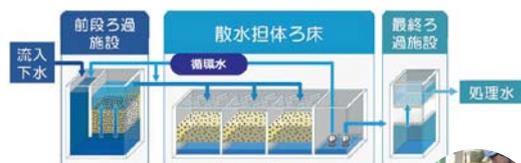
※2 DHS: Down-flow Hanging Sponge (下降流スポンジ状担体)

もうすぐ
僕のデザイン
マンホールも
できるよ☆



高知市下知水再生センター 「無曝気循環式水処理技術」

表紙の人：水質管理担当GJ山本主任とダンディーGD尾崎係長



処理水は
とってもキレイ!



本技術は、既存施設内に前段ろ過、散水担体ろ床、最終ろ過等からなる施設を設置して、送風による曝気を行わずにBODを除去する省エネ技術で、実証研究により年間を通じてBOD15mg/L以下を達成しながら、消費電力量53%削減を実現しました!また、前段ろ過施設と消毒の組み合わせで災害後の応急復旧対応が可能となります。実証研究は終了しましたが、現在、更なるデータ蓄積のため自主研究を継続しています。

当下知水再生センターは、「はりまや橋」や高知市民が大好きな巨大な屋台村「ひろめ市場」等を含む高知市中心市街地を処理区域に持つ施設です。近所の保育園児たちがどんぐり拾いにやってきたり、市民に身近な水再生センターとして活躍中です。



CONTENTS

02 | 今月の表紙

03 | 下水道女子が伝える下水道の魅力
私の下水道 ~中国・四国GJ編~

07 | 【連載】
地下カン口を流れるよもやま話
GJ Photo Snap

08 | 【地域別特集】
マンホールサミット 倉敷2017 レポート

10 | 【連載】
GKP HOTNEWS

11 | 【連載】
GJ Column
見つけちゃった!下水道あんなニュースこんなニュース

12 | 【連載】
GJのつぶやき
編集後記
次号予告

私の下水道

My Gesuido

島根県浜田市
上下水道部下水道課

杉泊 彩英

【仕事の紹介】 下水道事業の整備工事、施設維持管理業務等を担当しています。
【ひとこと】 下水道課に異動し1年目です。職場の雰囲気にも慣れ、楽しく仕事に取り組んでいます。



浜田市の下水道



浜田市は島根県西部の日本海を望む位置にあり、平成17年10月に1市3町1村が合併し新「浜田市」としてスタートしました。

本市の下水道は、平成9年から特定環境保全公共下水道事業を開始し、現在、3処理区で供用開始しています。3処理区のうち2処理区については既に整備が完了し、1処理区は、現在も引き続き整備工事を行っています。

集落排水事業については、昭和56年から事業を開始し、農業集落排水が10地区、漁業集落排水が4地区あり、いずれも事業完了し、供用開始をしています。

その他には、コミュニティプラント、市設置浄化槽などにより汚水処理を行っています。

また、資源の有効利用と農地還元を目的とした肥料化施設が3施設あり、下水道の普及啓発活動の一環として生産した肥料を地区の住民の方へ無償で提供しています。

これからの下水道

本市の汚水処理人口普及率は、平成28年度末で46.0%となっており、島根県全体の78.6%を大きく下回っています。

本市では、合併前の旧町村では早期に下水道整備に着手していましたが、旧浜田市においては、市役所周辺の市街地などは下水道整備が未着手になっています。

今後、未着手となっている、市街地周辺の下水道整備に取り掛かるため、現在準備を進めています。

また、既に整備が完了している施設については、老朽化などにより修繕・更新時期を迎えています。

施設によっては、供用開始後、30年を経過するものもあり、計画的に修繕・更新工事をすすめていく必要があります。

GJ になって思うこと

土木技師として入庁し、2年目で下水道課に異動になり、GJの一員となりました。下水道課に異動と聞いて何をするのかばつと出て来なかったのが本音です。しかし先輩・上司の方に説明をもらって、初めて基礎的な下水道の役割を知り、生活するうえでの大切な役割を担っている事を学びました。下水道は住民の方に直接影響するため、施設や管路の維持管理を徹底的におこなわなければならないという責任も感じています。

女性にとっての強敵はなんといっても力仕事だとおもいます！そのため、マンホールは私の強敵です。重くて持ち上がらないことが多々あります。ただ、あけるのにはコツがあったり、助けてくれる優しい先輩・上司の方がいるので心配ありません。少し汚い印象があるかもしれませんが、きっと慣れるはずですよ。女性でも十分活躍できる場だと思っています。GJが今後増えるといいなと思います。

わが町自慢

豊かな自然 ～ 海と山 ～



海岸部は変化に富んだリアス式地形により、県内随一の水揚げを誇る漁港を有し、毎日数多くの魚が水揚げされ、全国各地へ出荷されています。また、夏には県内外から多く観光客が海水浴場に訪れます。



山間部では日本の棚田百選に選ばれた美しい田園が見られるなど、昔ながらの懐かしい風景も多く残っており、その土地に適した様々な農産物が育てられていますので、四季折々の味覚を楽しめます。

私の下水道

My Gesuido

広島県広島市
下水道局施設部管路課

管路改築係 **宇枝 美涼** 建設係 **垣内 美月**

【仕事の紹介】公共下水道の管きよの新設・改築工事の設計・積算・監督を担当しています。

【ひとこと】ほぼ終日パソコン仕事で日に日に目が悪くなってきています。(宇枝)
一日でも早く先輩方に近づきたいと思うばかりです。(垣内)



●●● GJ1 年目 (宇枝)

私たち2人は今年度新規採用として入庁し、下水道局に配属されたGJ1年目です。今まで地下に埋設され目に見えない下水道を意識したことはなかったのですが、この配属をきっかけに、自分が水道を利用すればその水が流れる管を想像したり、道を歩けばマンホールや舗装を無意識に見るようになりました。当初は、やはり下水道は工事が完了してもほぼ分からないので道路に配属された同期が羨ましかったりもしたのですが、現在は、下水道に目立たないながらも生活するうえで必要不可欠な「縁の下の力持ち」のようなかっこよさを感じ、誇りを持って仕事をしています。

●●● 広島市のデザインマンホール蓋 (宇枝)

本市のデザインマンホール蓋は5種類あり、それぞれ設置地区が異なります。上の写真にも写ってます緑バージョンのカープ坊やは、昨年のセリーグV7記念で昨年の9月、マツダスタジアム付近に一箇所だけ設置されました。場所は非公表ですので、ぜひ探してみてください!



▲カープ坊や(マツダスタジアム)



▲もみじ(広島城)



▲おりづる(広島駅)



▲かもめ(広島港)



▲かよこバス(横川駅)

本市ではこれらの蓋のうち、カープ坊やのデザインのものについてのみマンホールカードが発行されています。これはマツダスタジアムの地下にある大州雨水貯留池の施設見学に参加しないと入手できない、とてもレアなカードです。私たちが局主催の施設見学の研修を受けて初めて入手できました。先日、「マツコの知らない世界」でマンホールの世界が放送されており、GJながら驚きました。内容はマンホールカードや出演者のお気に入りの蓋を紹介するというものでした。私はマンホールカードの存在自体入庁して初めて知ったのですが、熱心なコレクターがいたり、全国のカードを網羅したコレクション本が出版されていたりと、近頃流行っているんですね。もっと知名度が上がって下水道自体も盛り上がってくれたらうれしいです。

●●● GKP 広報大賞グランプリ受賞! (垣内)

下水道局が平成28年度に作製した下水道PRポスターが、下水道広報組織略してGKPが実施している第5回GKP広報大賞において、最優秀賞であるグランプリを受賞しました。

このポスターは、下水道施設が普段見えないところで重要な役割を担っていることを市民の皆様へ改めて認識していただき、理解を深めてもらうことを目的としています。

私達が入庁して初めて倉本施設部長にお会いしたとき、このポスターを見せていただいたことはとても印象に残っています。広島東洋カープとのコラボレーションにより広島ならではの独自性があり、また、球場を上と下に分け、普段なじみのない方から見ても下水道の世界を分かりやすく表現されていて、私自身とても感動しました。また表彰式の際には、私達もポスターを持つ係として倉本施設部長と共に壇上に立たせていただきました。下水道について市民の皆様へ理解していただくために、まずはこの職場で自分自身の知識を深めたいと感じました。



わが町自慢 広島市 広島で生まれたスポーツ (垣内)

皆さんは、「エスキーテニス」を御存知ですか?
エスキーテニスは、1945年に原爆が投下された廃墟の中で、広島の子供達が焼け残った板切れで手作りのボールを打ち合っていたことが始まりといわれています。「スポーツを通して平和を」という願いを込めて考案されました。

卓球で用いるラケットよりも少し大きめの木製のラケットで羽根の付いたボールを打ち合う、テニス型のスポーツです。広島市では職員体育祭が毎年行われますが、エスキーテニスは、そのうちの1種目です。昼休憩には、職場の先輩方に教えていただきながら練習に励んでいます。昨年度、下水道局は惜しくも準優勝だったので、今年度こそは優勝目指して取り組んでいきたいです。
(写真:広島市HPより ラケットとボール)



私の下水道

My Gesuido

徳島県徳島市
下水道事務所 北部浄化センター

井原 まどか

【仕事の紹介】 水質検査、水質維持管理

【ひとこと】 水質維持管理は奥が深く、まだまだ知らないことがたくさんあります。一つずつ、解決していけるように頑張っています。



はじめてまして

私は、化学職で採用され、徳島市の東の端に位置する北部浄化センターで水質管理の仕事をしています。市役所に採用されて12年間、環境保全課で公共用水域の水質監視及び工場・事業場の排水規制の業務に従事していました。初め、下水処理場へ配属が決まった時は、大学の時に環境化学を専攻していたこともあり、水質浄化の仕組みに興味を持っていたので不安もありましたが、期待に胸をふくらませていました。

しかし、寒い日も暑い日も雨の多い時期も少ない時期もある中で、毎日、流入水の水質や水量が変化するため、一年間を通して、きれいな水質を維持することは、非常に難しく、活性汚泥という生き物をどのようにコントロールすれば、水質を維持できるか悩める日々を過ごしています。その上、水処理は、一度調子を崩してしまうと改善するには、何日も、時には数カ月がかかることもあり、4年目になる現在でも活性汚泥と奮闘する毎日です。

また、水質を維持するためには、化学的な視点からだけではなく、さまざまな職種の方とのコミュニケーションや協力が必要不可欠です。職員同士で、意見を出し合い一つのチームとして仕事を進めていくことの大切さを実感しています。

徳島市について

徳島市は、徳島県の東部に位置し、吉野川とその支流がつくり育てた三角洲に発達した県都です。気候は、温暖で、阿波おどり、人形浄瑠璃、藍染め、すだちなど徳島の風土と歴史が育んだ個性的な文化を有しています。

市内には、138もの河川が流れ、市の中心部を流れる「新町川」は町のシンボルであり、一級河川である「吉野川」も人々に親しまれ愛されています。

徳島の公共下水道普及率は、全国で最下位です。あまり自慢はできませんが、厳しい財政状況のなかで、新設管の整備、老朽した処理場、ポンプ場の設備の維持修繕などを進めています。

北部浄化センターについて

北部浄化センターは、平成11年4月に供用が開始されました。平成22年4月に水処理施設が増設され、現在、30,100m³/日(最大)の処理能力があります。

職員は総勢16名で、少数精鋭で仕事をしているので、和気あいあいとした雰囲気です。

現場の仕事のため、日々予期せぬトラブルが起こることもありますが、その時には、職員が一丸となって解決しています。

供用開始から18年が経ち、南海トラフ大地震の予測や施設の老朽化など職員としては不安もありますがこれからも日々精進していきたいです。



わが町自慢 とくしまLED・デジタルアートフェスティバル

2018年2月9日(金)～18日(日)に開催される、「とくしまLED・デジタルアートフェスティバル」。水とともに生きてきた徳島にLED産業が集積しつつある今日、「水都・とくしま」を舞台に、水と緑の魅力にLEDとデジタルアートを加えて、他都市にはない新たな魅力を創造・発信するイベントです。是非周遊しにおいでなして!



私の下水道

My Gesuido

香川県綾川町
建設課

尾上 里香

【仕事の紹介】 下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽補助金に関わること、いろいろやっています。

【ひとこと】 下水道課が今年度より建設課と統合。下水道に携わる職員が実質1.5人体制となる中、課員全員の協力を得て新たな気持ちで頑張っています。



●●● G J 5年目、元スイマー

一般行政職で採用された私ですが、下水道課に配属されGJとなり、4年2ヶ月が経過しました。私は幼少から大学まで水泳競技をしていた体育会系。仕事で行く現場も性に合っていると感じています。昨年は下水管布設工事でレベルを用いての検査を経験。緊張したけど楽しくも感じました。作業服も定着し、一部ではなぜか「ねえさん」との愛称で慕ってくれたり。少人数で、大変なことも多々ありますが、充実した日々を過ごしています。

四姉妹スイマーの母でもあります。



▲マンホールカードで笑みが☆

●●● 綾川の清流を守る

綾川町は、香川県のほぼ中心に位置する人口約24,000人の町です。讃岐うどん発祥の地として知られています。また、県下最長の河川である綾川が北西部に流れています。本町の下水道は、中讃流域下水道(大東川処理区)の関連特定環境保全公共下水道で、下水道処理人口普及率は39.6%です。引き続き、用途地域内(都市計画法)での道路整備にあわせた管渠整備や維持管理、接続推進、企業会計化の検討など「持続可能な下水道」の視点をもって、自然環境を守っていきたくと考えています。

●●● 下水道を知ってほしい

綾川町では毎年、下水道PR事業として、小学4年生以上を対象とした下水道推進標語を募集、表彰しています。今年度は947通の応募があり、最優秀1名、優秀3名を選出、表彰式を行いました。こういう機会を通して、家庭内の会話の中に下水道に関する話題が上がってくれたら嬉しいなと思います。また、マンホール形の缶バッジを制作し、配布も行っています。



●●● マンホール蓋

近年、各種メディアでも取り上げられ、ブームとなりつつあるマンホール蓋。綾川町では現在、4種類のデザインマンホール蓋(旧町名があるため)、1種類のカラーマンホール蓋が存在します。話題のマンホールカードはまだ…。全国の自治体の多くが手をあげ、次々とカード化されているのをうらやましく思っており、次こそは採用されることを期待しつつ、今年度は、「あやがわ」の展示用カラーマンホール蓋(2種類)を制作します。今後、GJ市町間で、PRの為マンホール蓋を交換・設置しては?と考えています。 乞うご期待!



うめ(旧綾南町)



スイセン・もみじ(旧綾上町)



都市と調和し、自然を満喫
綾川新駅・柏原溪谷

ことடன் 綾川駅周辺

平成25年に開業した新駅。都市計画マスタープランに基づき昨年12月には用途地域を指定。道路改良や下水道整備が進んでいます。



柏原溪谷

綾川本流の上流に沿う柏原溪谷は、讃岐百景の一つになっています。キャンプ場もあり、川、森遊びにふさわしい溪谷です。





何かとIOT

最近は何でもIOTですよ。でも、近い将来に本格的なIOT時代を迎えると、恐ろしいのはテロ組織に原発をサイバー上で乗っ取られてしまうような事件が起こることですよ。

原発の場合はもちろんそんなことが起きないように徹底的に対応されていると思いますが、これが下水処理場の場合には、きちんと対応されているのか気になります。まあ世間的には浄水施設の乗っ取りの方が恐ろしいというイメージがあるかも知れませんが、下水処理場のハッキングもかなり脅威ですよ。流入ゲートを閉め切つて操作できないようにしてしまえば、たらまらマンホールから下水が溢水しますし、消毒しないまま水道水源に放流すれば、感染症を蔓延させることが可能かも知れません。

下水処理場が無力化したときに何が起きるのか、大都市ではシミュレーションされています。

地下カノ口さんが管理人を務めるブログ「YOUNG 下水道season2」に寄せられたコンテンツの中から、GJ Journal事務局がおススメの記事をご紹介します。



地下カノ口さんの仲間 幹太さん

Profile

下水道と競馬とゲームを愛する風来坊(♂)。ブログ「YOUNG 下水道season2」に、定期的にコンテンツを更新中。下水道のトピックのみならず、あらゆるジャンルのよもやま話を掲載している。

ると思いますが、想像するだけで結構恐ろしいような気がしますね。

下水道のIOTはもう始まっていると思いますが、安全対策はちやんとやっつて欲しいものです。個人的には、トイレに座ると健康状態が判るとか、その手のIOTに興味があります。



GJ vol.05 Photo Snap

GJが街で気になったことや話題のモノを写真で紹介します。今回は海外からの投稿もありもりだくさんです!



▲今回は、東欧ウィーンからの投稿です。カラフルなデザインで有名な大阪市の舞洲スラッジセンターのデザイナー、フンダートファッサー氏の美術館です。



◀美術館内にあるトイレも外装同様、とてもおしゃれなのです!ちょっと落ち着かないかもしれませんが(上は洗面台、左はトイレ内部の写真)



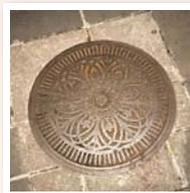
平成29年度全国ワークショップをG&U技術研究センターで行いました。一部をチラっとお見せします!



◀一見、ただの柱かと思いきや、なんと、東京駅を100年支えていた柱だそうです!



◀丸型かと思いきや・・・実は四角いマンホール蓋です!



◀らせんをモチーフに花柄が描かれておしゃれですね。



◀G&Uのある川島町のマンホールふた。「かわべえ」と「かわべん」というキャラクターがデザインされています。



～ マンホールサミットが 倉敷市で開催されたので レポートします～

平成29年11月18日、岡山県倉敷市でマンホールサミットが開催されました。中国地方では初開催ということで、私たち倉敷市G Jも気合十分！当日は、あいにくの雨模様にもかかわらず、来場者数は過去最多の3500人!! 大いに盛り上がったイベントの様子をレポートします。

阿知まち広場・マンホール蓋展示場

岡山県内各市町のマンホールが会場に一同に集合！減多にお目にかかれないシア蓋もたくさん展示。来場者のみなさん、すこく熱心に写真撮影されましたよ。



下水計画課 中西



メイン会場イベント (リレートーク・蓋抽選会)



いきなりリレートークに指名されてから緊張の毎日！何とか無事うい大役を終え、ようやくひと安心。マンホール蓋抽選会ではなんと8歳の小学生が当選！将来有望なマンホールラー誕生ですね！



下水建設課 前川(ゲス女)

マンホール de ホットケーキ



当日は予想以上に大勢のお客さんで裏返す時にすごく緊張しましたが、きれいに模様がつきました！



下水建設課 金山

マンホール de アート<版画体験>

みなさん、真剣かつ楽しそうに作業されていて、オリジナル作品の出来栄えに喜んでいただけました。抽選に外れて参加できなかった方、ごめんなさい！



下水普及課 坂本



マンホールラリー～マンホールを巡るウォークラリー



サミット来場者は、県外の方も多く、倉敷の街を楽しんで散策してもらえました。使用したラリーマップ、スタッフの手作りです！



下水建設課 須田

新デザインマンホール&マンホールカードについて

サミット直前の11月15日に、市内2ヶ所に新たにデザインマンホールを設置しました。

このマンホールは、倉敷市が日本遺産に認定されたことを記念して、「綿花」をモチーフにデザインしました。

倉敷市では3枚目となるマンホールカードにも採用され、サミットで一部先行配布しました。いち早く手に入れた方、おめでとうございます！



下水計画課 高槻



新マンホールの設置の様子
(倉敷市玉島)



第6弾マンホールカード
(H29.12.9から通常配布開始)

GKP HOTNEWS



下水道広報プラットフォーム

開催報告

GJリンク全国ワークショップ開催

～マンホール蓋から市民に下水道を知ってもらうには～

1月17日(水)にG&U技術研究センター(埼玉県比企郡)で「平成29年度GJリンク全国ワークショップ」を開催しました。

施設見学とワークショップの2部構成で開催された本ワークショップ。施設見学では、展示室の見学や水理モデル実験や浮上試験、耐スリップ試験等を通じてマンホール蓋の安心・安全を守る最新技術を学びました。その後のワークショップでは、グループ毎に分かれて施設見学での発見を共有し合うと共に、マンホール蓋を入口に下水道広報についてディスカッションを行いました。



▲施設見学の様子①



▲施設見学の様子②



▲集合写真

当日は、全国の地方公共団体や関係団体、民間企業等、約60名のGJ(下水道女子)が集まり、女性同士の意見交換を楽しむ光景が見られました。

お知らせ

下水道のお仕事を紹介するパンフレットが完成しました!!

～「下水道」を仕事にしませんか?～

「下水道を未来につなげる会(GKP未来会)」では、このたび就職活動中の学生に向けて下水道業界を紹介するパンフレット「就活している皆さん! [] を仕事にしませんか?」を作成しました。

パンフレットには、下水道の役割や魅力、下水道の多岐にわたる仕事について紹介されているとともに、未来会のイベントに参加したことがきっかけで下水道業界に就職を決めた3人の未来会会員企業社員によるメッセージが掲載されています。

本パンフレットは、大学・高等専門学校へ配送するほか、未来会が主催するイベントで配布いたします。

GKPホームページ

(<http://www.gk-p.jp/miraikai/miraikai.html>)にも掲載していますので、皆様も是非ご活用ください。



お知らせ

第50回ミス日本コンテスト2018開催

～「水の天使」に浦底里沙さんが選出～

1月15日(月)に、「第50回ミス日本コンテスト2018」が開催され、2018ミス日本「水の天使」に鹿児島県出身のモデル、浦底里沙さんが選出されました。

浦底さんは現在多くのCMに出演し、広告モデルとしても活躍中。趣味が料理(レシピ作り)のため、BISTRO下水道の取り組みに興味を持っています。

ミス日本「水の天使」は、水の広報官・外交官の役割を担い、日本全国の上下水道に係わるイベ

ントや水に関する国際会議への傘下を通じて、世界に誇る日本の水の知恵と文化を伝える役割を担います。今後、多くの下水道イベントに登場しますので楽しみにしてください。

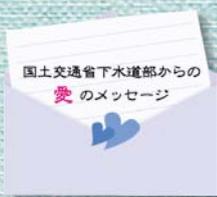
2月3日(土)には日産フィールド小机(横浜市)にて下水道健康駅伝大会が開催され、浦底さんと歴代「水の天使」の柴田さん、須藤さんが参加しました。



▲笑顔の素敵な浦底さん



▲下水道健康駅伝にて



vol.12

下水道企画課・国際技術企画係長の長谷川です。私は大学時代を中国地方で過ごしたので、今回、回番が回ってきました。下水道歴2年目、国際歴も2年目ですが、大学では「植生のある河川」というテーマを留学生と一緒に研究していたので、水・環境や国際という分野には思い入れがあります。

つたない英語(ル●語)とジェスチャーを駆使しながら実験や計算をしつつ、他の研究の手伝いとして、洪水時の河川から水を採取し濁度を計測したり、河床の測量のため深いところに入り溺れたり、色々なことを経験しました。結局、英語力はさっぱり伸びませんでしたが、学生時代の経験を基礎としながら、これからの下水道人生を頑張っていきたいと思います。

(下水道企画課 長谷川)



GJ
Column
vol.13

GJ Columnでは
毎号皆さんに役立つちょっとした小ネタを紹介していきます。
時間のある時に読んでみてください。
皆さんの生活に下水道が少しだけ近づいた気分になるかもしれません。

全国ご当地マンホール
よろずマンホール



vol.13

東広島市(広島県)のマンホール

「1つの市にこんなに多種のデザインマンホールがあるなんて!？」と、驚いたのが東広島市のマンホール蓋。2017年に新たに8種制作したようで、これらのマンホール蓋が一度に楽しめる場所が市内にあるらしいです。

個人的なお気に入り、国の天然記念物に指定されたオオサンショウウオのマンホール蓋。合併した旧豊栄町は、水系の現流域にあたる「水の生まれるまち」。こうした綺麗な水環境に生息するオオサンショウウオと、町の木花が可愛らしく描かれています。



下水道に優しい生活
vol.13

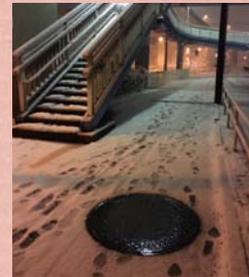
雪はどこに捨てたら良いの??

1月下旬、関東にもついに雪が降りました。都心の最低気温は48年ぶりに氷点下4度を観測し、記録的な冷え込み。北陸では平年の7倍の積雪量になり、140センチを超える雪が積もったのは37年ぶりとのこと。車の立往生や水道管の凍結など、市民生活に大きな影響が出ています。

これだけ積もってしまった雪。一体どうすれば?

GJ Journal vol.2の「北海道オリジナル特集記事」には下水の熱を使った融雪などの工夫が紹介されています。これは便利!雪の降りやすい地域で、下水熱を活用したこういった施設が増えるといいですね。

ですが、くれぐれも、近くにある普通のマンホールを無理やりあけて雪を捨てるのはいけませんよ。



◀マンホールの上は雪が積もっていない

下水道女子がおすすめする

今月の一冊



禅の言葉 -シンプルに生きるコツ-

枅野 俊明(著)

ニュースウィーク日本版「世界が尊敬する日本人100人」に選ばれた曹洞宗徳雄山建功寺住職(兼庭園デザイナー)の著者が、人生をシンプルに考え、生きて行くために必要な心の持ち方を、禅語を用いながら伝えてくれる書。

仕事に疲れた時や心が折れそうな時にふと開いてしまう本。禅の言葉ひとつひとつが、著者による優しい解説によって心にじんわりと響いてきます。今、努力することの大切さを改めて感じた1冊でした(Y.Y)。

大和書房(2011/12/17)



見つけちゃった!
下水道あんなニュース
こんなニュース vol.12

受験生の強い味方!
合格祈願マンホールカード

2月は受験シーズン。この時期になると、各お菓子メーカーが合格祈願のお菓子(「ウカール(カール)」や「Toppa(Toppo)」、「きっと勝つとお(KitKat)」など)を販売していますが、受験を応援する強い味方として、マンホールが話題と

なっていることをご存知でしょうか。

マンホールの蓋は丸くなっているのだから「落ちない」、凹凸しているのだから「滑らない」ということで、「縁起が良いもの」として評判になっているとか。一部の自治体では、実際に神社にて合格祈願の祈禱を受けた「合格祈願マンホールカード」の配布を開始しているとか(編集者も先日、富岡製糸場で合格祈願マンホールカードと缶バッジをもらってしまいました)。

マンホールで受験生を応援している自治体は、国土交通省サイトよりご確認い

ただけます(無くなり次第終了のところもございますので、事前にお問合せください)。



▲富岡製糸場でもらった合格祈願マンホールカード

国土交通省サイト http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000535.html

GJのつぶやき

日常の業務の中で、大変だったことや嬉しかったこと、提案したいことなどをつぶやき形式で紹介しします。第14号は、中国・四国GJからのつぶやきです。

私ではびくりともしなかった公共樹のふたを、先輩はハンマーで叩いて開けると、閉塞原因の根っこを鎌とキックで取り除いた。尊敬します... (境港市 C.U)

まだまだGJ見習い中。最近、他市にいくとマンホールのデザインが気になります…。ちゃっかり、写真をとることも！ (浜田市 S.S)

GJ 1年目。下水道部に異動するまではマンホールに興味なかったけど、気づけば通勤途中も下ばかり見て歩いている私。旅先でマンホールを見つけると、すかさず写真を撮る私。いつの間にかすっかりマンホラーに…！ (倉敷市 J.N)

仕事を通してはじめて、下水道のことを多く知りました。まだまだ勉強中ですが、生活を支える下水道のこと、もっと知りたいと思います。(呉市 N.F)

冬の採水作業は寒いですが、有酸素運動?? がんばります…！ (宇部市 C.Y)

はじめてGJの活動に携わりました。なりたいな、真のGJに (徳島市 Y.A)

下水道女子の”訪れたいまち”=下水道が通っている”まち” (東かがわ市 H.T)

最近、旅行の目的が「マンホールカード収集」になってきてます。現在、96枚♪ (八幡浜市 Y.A)

いろんな出会いや環境の変化を経験し、ますますハマっていく自分がいます。(高知市)

GJ Journal Vol.14 中国・四国特集

平成30年2月発行

発行 : 下水道広報プラットフォーム(GKP)
編集 : 中国・四国特集編集委員
藤原 弘貴(広島市下水道局経営企画課)
下水道広報プラットフォーム(GKP)事務局
(公社)日本下水道協会広報課
デザイン: 株式会社紙藤原

※「私の下水道」、「地域別特集」および「編集委員」に記載されている所属は平成30年1月末時点の所属です。

次号 予告

次号は関東特集です！ (4月発刊)

編集後記

GJジャーナル中国・四国特集はいかがでしたか。私は下水道1年生の「GD」(下水道男子)ですが、編集委員として写真撮影に同行したり、GJの皆さんからいただいた原稿を拝見したりする中で、GJならではの発想で和気あいあいと全力で業務に励んでおられる姿を垣間見ることができ、下水道に関する知識以外にも多くのことを学びました。

皆さんと交流させていただいたことが大きな刺激となり、私も皆さんに負けぬように日々の業務を頑張ろうと感じています。

1つの雑誌をGJの皆さんで協力して作成していく中で、お互いに学び、共感し、繋がりを持つきっかけになれば幸いです。

GJ Journal中国・四国特集の作成に当たり、GJの皆さんを始め、多くの方々のご協力をいただき、本当にありがとうございました。(広島市 藤原)



下水道は生活を支えるインフラであり、多様な利用者の視点に立った事業運営のためにも下水道業界での女性のますますの活躍が欠かせません。しかし女性職員の少ない職場も多く、気軽に話せる同僚がいない、ロールモデルとなる先輩女性がない等の悩みをもつことも多いようです。

そこで下水道広報プラットフォーム(GKP)内に女性同士の繋がりを支援する場として「下水道分野で働く女性の会(愛称:GJリンク)」が設置され、国土交通省下水道部職員も本会の設置趣旨を踏まえアドバイザーとして参画しています。単に繋がるだけでなく、様々な企画を通して情報発信や企画・運営などのスキルアップを図る取り組みも始まっています。



GJML会員は、随時募集中！
詳しくは、GJリンクHPまで

<http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html>

GJリンク

検索

GJリンク事務局

日本下水道協会内
GKP事務局(広報課)内
TEL:03-6206-0205

URL: <http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html>